

2008年3月期 決算説明会 データブック

シダックス株式会社
2008年5月30日

平成20年3月期 決算トピックス

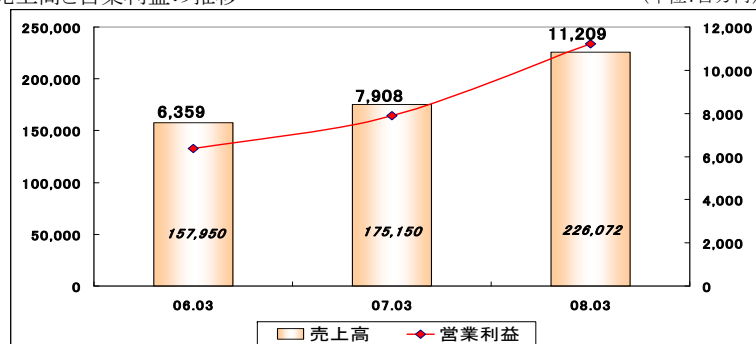
I. 連結経営成績

[短信 1及び4ページ記載]

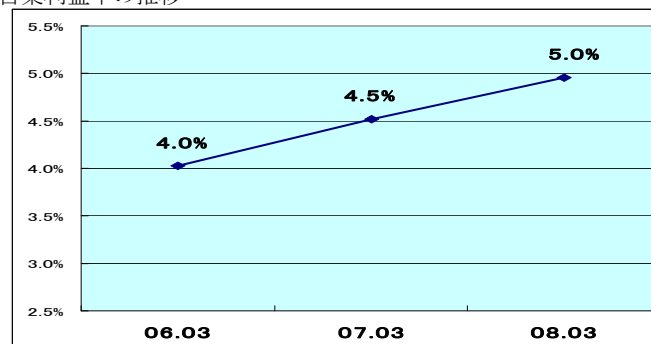
当社グループは「水平・垂直型グループ」構造のもと「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大に取り組み、「総合サービス企業グループ」の体制構築に努めました。売上高においては、トータルアウトソーシング事業が新たに加わったこと及び米国におけるスペシャリティーレストラン事業の業績が通期において貢献したことにより、過去最高の2,260億円となりました。営業利益においてもコントラクト・メディカル両フードサービス事業における販売管理費の適正化や食材調達効率化など、内部構造の強化が順調に推移したことにより112億円となり過去最高を更新しました。また、経常利益も106億円と過去最高となりました。

■売上高と営業利益の推移

(単位:百万円)



■営業利益率の推移



II. 当期の業績要約

[短信 4～5ページ記載]

1. コントラクト・メディカル両フードサービス事業においては、販売管理費の適正化や標準メニューの推進による食材調達の効率化など利益率重視の方針で臨んだ結果、売上高は前期並みでしたが、収益率は大幅な改善につながりました。
2. エスロジックス事業においては、「安心・安全」への取組みとして衛生検査体制の構築、トレーサビリティ体制の整備を行うとともに、同業他社との共同購買機構を活用した食材調達により、食材高騰の影響を最小限に止めた結果、収益性の向上につながりました。
3. レストランカラオケ事業においては、90店舗にてカルチャークラブの開講、店舗リニューアルによる三世代ファミリーがご利用しやすい施設の充実に加え、イベントやテレビCMなど積極的な広告宣伝を展開することで増収を維持しました。
4. トータルアウトソーシング事業においては、地方自治体の行財政改革推進によるアウトソーシングが進む中、学校給食・事務サービス業務等の一括アウトソーシングの受託や複数の地方自治体から幅広く指定管理者として指定を受けるなどした結果、業績は概ね予想通り推移しました。

III. 増資による財政面の強化

[短信 4ページ記載]

財政面においては、財務内容の安定と有利子負債圧縮を目的に公募40,000株・第三者割当4,617株の増資を行い、37億円の資金調達を行いました。この増資により調達した資金37億円は全て借入金の返済に充当しております。

IV. 特別損失の計上(個別・連結)及び配当について

[4/25、5/21適時開示資料記載]

当社の連結子会社である大新東株式会社について、決算日における同社株式の株価が著しく下落していることから、当社個別決算において減損処理による関係会社株式評価損137億円を特別損失に計上し、それに伴い当社連結決算においても当該株式時価の下落相当額をのれん償却額として138億円特別損失に計上しております。

なお、個別財務諸表上の利益剰余金がマイナスとなりますが、期末配当につきましては株主の皆様への安定配当を目的として、平成20年6月27日開催予定の当社第7回定時株主総会において付議事項であります「資本準備金の額の減少の件」が可決されることを条件に、平成20年3月期の1株当たり期末配当を1,500円と予定しております。

V. 連結損益計算書とセグメント情報の増減説明

[短信 20ページ記載]

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
売上高	175,150	226,072	50,922	29.1%
営業利益	7,908	11,209	3,300	41.7%
経常利益	7,939	10,667	2,727	34.4%
当期純利益又は純損失(△)	1,527	△ 10,039	△ 11,567	△ 757.2%

[短信 46～49ページ記載]

■ セグメント情報(一部加工)

(単位:百万円)

外部売上高	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
給食事業				
エスロジックス事業	5,876	6,865	988	16.8%
コントラクトフード事業	39,321	39,073	△ 247	△ 0.6%
メディカルフード事業	40,336	40,446	109	0.3%
計	85,534	86,384	850	1.0%
レストランカラオケ事業	61,791	62,934	1,142	1.8%
スペシャルティレストラン事業	14,054	25,357	11,303	80.4%
コンビニエンス中食事業	12,365	12,482	116	0.9%
トータルアウトソーシング事業	—	36,200	36,200	—
その他の事業	1,405	2,713	1,307	93.0%
消去又は全社	—	—	—	—
外部売上高 計	175,150	226,072	50,922	29.1%

内部売上高	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	49,820	52,293	2,473	5.0%

(単位:百万円)

営業利益	19年3月期	20年3月期	増減額	増減率
給食事業				
エスロジックス事業	3,812	4,536	723	19.0%
コントラクトフード事業	1,342	2,000	657	49.0%
メディカルフード事業	△ 746	△ 16	730	97.8%
計	4,407	6,520	2,112	47.9%
レストランカラオケ事業	7,807	7,125	△ 682	△ 8.7%
スペシャルティレストラン事業	64	△ 353	△ 418	△ 644.7%
コンビニエンス中食事業	△ 143	△ 92	50	35.4%
トータルアウトソーシング事業	—	2,751	2,751	—
その他事業	△ 353	△ 479	△ 126	△ 35.7%
消去又は全社 ≡ HQコスト	△ 3,874	△ 4,260	△ 386	△ 10.0%
営業利益 計	7,908	11,209	3,300	41.7%

□ 連結売上高は2,260億円となり、前期に比べて509億円の増収となりました。

前期末において取得した大新東株式会社におけるトータルアウトソーシング事業が順調に推移したこと及び前期において取得した米国におけるスペシャルティレストラン事業の業績が通期で寄与(前期は下期112億円の計上)したことにより、売上高がそれぞれ362億円及び253億円となりました。

レストランカラオケ事業においては、店舗リニューアルによる施設の充実に加え、イベントやテレビCMなど積極的な広告宣伝を展開することでお客様の拡大を図り、売上高は629億円となり、既存店前年比101.7%と前期水準を上回りました。

エスロジックス事業の内部売上高の増加は、レストランカラオケ事業向け酒類の供給体制を「一元物流システム」に編入し、食材調達効率化を図ったこと及び各セグメントへのサポート体制機能の強化によるものです。

□ 営業利益は112億円となり前期に比べて33億円、経常利益は106億円となり前期に比べて27億円、それぞれ増益となりました。

給食事業は、コントラクト・メディカル両フードサービス事業において、販売管理費の適正化に注力するとともに、エスロジックス事業との連携を強化し「安心・安全」な食材を低コストで供給することで収益率の改善を図った結果、上記の通り3事業合算と比較すると営業利益は21億円の増加となりました。

また、当期よりトータルアウトソーシング事業の損益が概ね予定通り寄与したことなどにより、営業利益は33億円の増加となりました。

□ 純損失は100億円となり、前期に比べて115億円の大幅な減益となりました。

当期において特別損失を155億円(のれん償却額138億円、減損損失13億円等)計上いたしました。なお、前期の特別損失は33億円(減損損失27億円)であります。

VI. 連結貸借対照表の増減説明

[短信 18～19ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
現金及び預金	16,760	14,649	△ 2,110
売上債権	14,065	13,985	△ 80
その他流動資産	8,362	7,598	△ 764
有形固定資産	36,504	32,081	△ 4,423
保証金等	11,550	11,787	237
のれん	20,195	6,485	△ 13,709
その他固定資産・投資等	18,581	16,843	△ 1,738
資産計	126,020	103,432	△ 22,588

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
仕入債務	10,672	9,340	△ 1,331
借入金・社債	59,496	47,843	△ 11,653
その他負債	23,513	20,635	△ 2,878
純資産	32,337	25,613	△ 6,724
自己資本比率	24.1%	22.5%	△ 1.6%

□ 連結総資産は1,034億円となり前期末に比べて225億円の減少となりました。また、自己資本比率は22.5%となりました。

財務内容の安定と金利リスク縮小を目的に有利子負債の返済に努め、資産・負債を圧縮したこと、のれん残高の大幅な減少によるものです。

□ 資産項目別にみると、流動資産は362億円と前期末対比29億円減少、固定資産は671億円と前期末対比196億円の減少となりました。

流動資産減少の主因は、有利子負債の返済を優先し現預金が21億円減少したことによるものであり、固定資産減少の主因は有形固定資産の減損損失及び減価償却等により44億円減少及び子会社株式の時価下落に伴うのれん償却等によりのれんが137億円減少したことによるものです。

□ 負債合計は778億円となり、前期末に比べて158億円の大幅な減少となりました。

財務体質の強化のため、有利子負債を116億円圧縮したこと及び仕入債務が13億円減少したことによるものです。

□ 純資産合計は256億円となり、前期末に比べて67億円減少となりました。

当期は、公募及び第三者割当による新株発行増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ18億円増加しましたが、連結子会社である大新東株式会社の株式時価下落に伴うのれん償却額138億円の計上により、利益剰余金が105億円減少となったことを主因に、自己資本比率は22.5%となり、前期末より1.6%減少しました。

当期以降におきましては、財務の健全性とより一層の資金調達が多様化、調達コストの削減を行うとともに、経営資源の更なる効率配分の促進を計画し、かつ収益性を高める方針であります。

VII. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信 7～8ページ及び23～25ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	11,256	8,910	△ 2,345
投資活動キャッシュ・フロー	△ 27,341	△ 2,279	25,062
財務活動キャッシュ・フロー	12,916	△ 8,433	△ 21,349
現金・同等物	16,049	14,186	△ 1,862

□ 営業CFは89億円となり、前期に比べて23億円減少となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益が93億円減少、仕入債務が15億円減少、未払金及び未払費用が31億円減少、法人税等の支払が26億円増加した一方、子会社株式の時価下落に伴い非資金費用であるのれん償却額が138億円発生したことなどによるものです。

□ 投資CFの純支出は22億円となり、前期に比べて250億円減少となりました。

これは主に、前期においては、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が252億円、営業譲受けによる支出が5億円発生したことによるものです。

□ 財務CFの純支出は84億円となり、前期に比べて213億円減少となりました。

これは主に、公募及び第三者割当による新株発行増資により資金調達を行った一方、借入金及び社債の返済に資金を充当したことによるものです。

[短信 8ページ記載]

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	18年3月期	19年3月期	20年3月期
自己資本比率(%)	34.5	24.1	22.5
時価ベースの自己資本比率(%)	64.6	30.8	19.6
債務償還年数(年)	3.7	5.3	5.4
インレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	15.1	18.0	7.3

■ 有利子負債等(リース債務含む)残高の推移

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	増減額
借入金・社債	59,496	47,843	△ 11,653
未経過リース料期末残高相当額	16,441	13,923	△ 2,517
合計	75,938	61,767	△ 14,171

□ 有利子負債等の残高は617億円となり、前期末に比べて141億円減少となりました。

当期は財務体質の強化のため、有利子負債を圧縮したことにより残高が減少しております。

VIII. 平成21年3月期の通期連結業績予想

[短信 1及び6～7ページ記載]

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額
売上高	226,072	226,500	428
営業利益	11,209	11,500	291
経常利益	10,667	10,900	233
当期純利益	△ 10,039	4,000	14,039

■ 売上高

フードサービス事業につきましては、不採算事業所における契約交渉を継続し赤字事業所の閉鎖、受託単価の見直しを図るとともに、既存店におけるイベント・フェアの実施及び健康志向の顧客ニーズに対応する企画の実施により顧客数の増加を図ってまいります。また、下期より営業開発部門を100名体制とし、利用者の年齢や性別、工場、オフィス等の勤務形態に見合った付加価値の高いメニュー提案を実施していくとともに、自治体の施設を対象に給食と施設管理を一括で請け負う営業体制を整え受託顧客数の拡大に努めてまいります。レストランカラオケ事業につきましては、きめ細かいサービスを運用することでお客様の来店を促し、既存店は前年比99.9%で前年並みを計画しております。

■ 営業利益

エスロジックス事業につきましては、標準メニュー導入の推進、一元物流への切替え・エスロジックス認可業者の集約及び商品集約による利益確保の仕組みに注力し、更なるコストの抑制を図り、食材高騰の影響を吸収してまいります。その他の事業につきましても、原価管理の適正化を継続して実施してまいります。一方、当期は基幹システムの見直し及び内部統制体制の強化などによる戦略経費7億円の支出を見込んでおります。

■ 当期純利益

上記の要因により40億円を見込んでおります。

Ⅸ. セグメント別店舗数推移表

05年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加	0	58	13	5	3	5	14	98	9	3	5	6	3	5	129
	減少	0	12	9	6	6	10	10	53	7	5	13	3	7	76	164
	残	1,626	1,672	1,676	1,675	1,672	1,667	1,671	1,671	1,673	1,671	1,663	1,666	1,662	1,591	1,591
メディア	増加	0	101	7	22	10	7	14	161	22	13	11	9	10	8	234
	減少	0	3	0	5	3	3	8	22	5	3	1	5	3	57	96
	残	724	822	829	846	853	857	863	863	880	890	900	904	911	862	862
レストランカラオケ	増加	0	2	0	3	5	3	1	14	2	2	1	2	1	0	22
	減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残	281	283	283	286	291	294	295	295	297	299	300	302	303	303	303
コンビニエンス中食	残															312

06年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加	0	89	7	8	11	8	7	130	11	4	5	5	8	5	168
	減少	0	10	5	6	11	8	7	47	9	3	5	2	9	67	126
	残	1,591	1,670	1,672	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	1,676	1,677	1,677	1,680	1,679	1,617	1,617
メディア	増加	0	83	16	17	12	15	8	151	13	12	9	5	0	4	194
	減少	0	3	3	10	5	10	7	38	8	13	9	7	4	49	128
	残	862	942	955	962	969	974	975	975	980	979	979	977	973	928	928
レストランカラオケ	増加	0	3	1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残	303	306	307	307	306	306	306	306	306	306	306	306	306	302	302
コンビニエンス中食	残	312							321							328

07年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		79	4	16	10	6	13	128	9	1	5	7	5	10	165
	減少		3	4	4	7	4	6	28	6	7	7	39	13	68	168
	残	1,617	1,693	1,693	1,705	1,708	1,710	1,717	1,717	1,720	1,714	1,712	1,680	1,672	1,614	1,614
メディア	増加		86	9	18	13	7	17	150	13	3	9	5	6	4	190
	減少		7	10	12	7	2	11	49	9	1	6	7	5	65	142
	残	928	1,007	1,006	1,012	1,018	1,023	1,029	1,029	1,033	1,035	1,038	1,036	1,037	976	976
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	303	303	303	302	302	302	302
コンビニエンス中食	残	328							343							347

08年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		50	6	4	4	3	5	72	4	2	1	1	1	0	81
	減少		6	2	3	8	4	10	33	5	7	28	7	10	67	157
	残	1,614	1,658	1,662	1,663	1,659	1,658	1,653	1,653	1,652	1,647	1,620	1,614	1,605	1,538	1,538
メディア	増加		63	3	6	9	6	2	89	7	6	3	1	4	1	111
	減少		6	9	5	2	8	11	41	11	8	8	5	9	70	152
	残	976	1,033	1,027	1,028	1,035	1,033	1,024	1,024	1,020	1,018	1,013	1,009	1,004	935	935
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	301	302	302	302
コンビニエンス中食	残	347							352							352

Ⅹ. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

05年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,955,481	5,243,091	4,381,813	5,183,878	5,773,957	4,844,375	30,382,595	4,788,684	4,473,242	7,130,475	5,938,189	3,990,591	5,375,255	62,079,031
客数(千人)	3,294	3,495	3,007	3,543	4,048	3,414	20,801	3,301	3,062	4,203	3,856	2,925	3,860	42,008

06年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	5,151,814	5,057,459	4,430,087	5,333,377	5,603,894	4,659,870	30,236,501	4,687,878	4,347,649	6,921,812	5,580,396	3,939,507	5,476,709	61,190,451
客数(千人)	3,335	3,364	2,956	3,496	3,808	3,197	20,156	3,091	2,873	4,039	3,681	2,869	3,755	40,464

07年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,958,028	4,800,411	4,283,626	5,059,274	5,618,381	4,708,497	29,428,216	4,454,454	4,391,879	7,338,688	6,201,528	4,370,888	5,704,035	61,889,688
組数(千組)	1,143	1,178	1,075	1,214	1,374	1,210	7,194	1,150	1,074	1,337	1,330	1,085	1,307	14,477

08年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	5,023,407	4,857,878	4,874,733	4,966,633	5,915,722	5,066,655	30,705,028	4,437,602	4,422,479	7,819,005	5,914,842	4,231,052	5,544,153	63,074,161
組数(千組)	1,139	1,151	1,137	1,177	1,388	1,232	7,224	1,100	1,037	1,327	1,234	1,051	1,277	14,249

シダックス株式会社

2008年3月期 決算説明会

2008年5月30日 金曜日
於:帝国ホテル

本資料には、中長期的戦略・計画・見通しが含まれております。
歴史的事実でないこうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
事業等のリスクと不確実性を内包しております。
将来の業績は、経営環境の動向などにもない変化し得る可能性があるため、
本資料に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

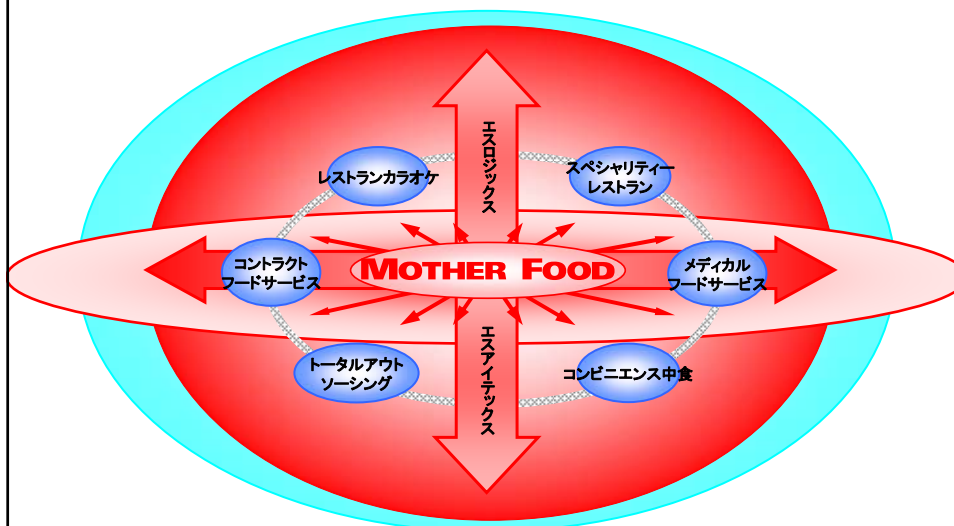
1

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■ 水平垂直統合型グループ構造



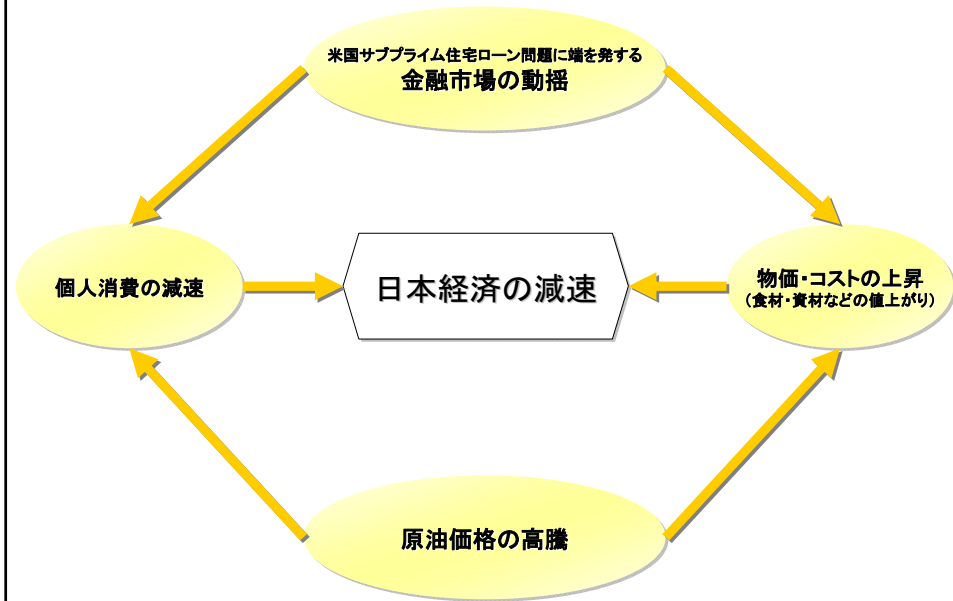
2

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■経済環境



3

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループを取り巻く環境

- ・中国製冷凍ギョーザ中毒問題など(「食」の安心・安全)
- ・「食品」「商品」表示偽装問題
- ・多様なサービスの要求 「食」に対する意識の変化
- ・社会保険問題などによる消費心理の冷え込み
- ・「食育基本法」への対応 「食育」に対する意識の高まり

- ・穀物や原油などの食料・資材の高騰
- ・人手不足などの労働力の減少(労務費高騰)
- ・地方財政を圧迫する行政構造
- ・急速に変化する社会環境・事業環境の中、民間企業は周辺業務のコストを削減

◆リスク&ブランド マネジメント

- ・競争激化による受託単価の低下
- ・安心・安全なサービスを求める消費者
- ・ライフスタイルの多様化による新しいサービスの創出
- ・スタグフレーションの懸念による各種産業の苦戦
- ・拡大する地方自治体の周辺業務外部委託化

◆品質向上・売上拡大

◆様々な「コスト削減」ニーズ

- ・地球環境への配慮 (エネルギー・省資源への取り組み)
- ・地方財政の逼迫(地方財政健全化法)
- ・「食品リサイクル法」への対応
- ・地域に密着した企業活動の必要性
- ・メタボリックシンドロームや特定健康診査の開始など国民の「健康」への関心の高まり

◆社会的要請への適応

4

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループの取り組み

◆リスク&ブランド マネジメント

中国製冷凍ギョーザ中毒問題など
「食」の安心・安全

「食品」「商品」表示偽装問題

多様なサービスの要求
「食」に対する意識の変化

社会保険問題など
消費心理の冷え込み

「食育基本法」への対応
「食育」に対する取り組み



◆安心・安全な商品提供の為に...

- ・エスロジックス事業による「食」の安心・安全の仕組みづくり
トレーサビリティ体制の構築、Web上での原産地表示
配送時の衛生体制チェック、3温度帯での食材配送など
- ・衛生管理体制の強化
品質管理部による巡回指導及び衛生教育の徹底
※レストランカラオケ事業においても衛生管理強化

◆多種多様な食事を提供する「シダックス」ブランド

- 学校給食、社員食堂、病院給食などの集団給食をはじめ
レストランカラオケ、高級レストランまであらゆる食事を提供する
「シダックス」ブランドの強化

◆差別化した商品の提供によるブランド強化

- あらゆる食を通じて「美味しさ」「健康」「楽しさ」を提供
メタボリックシンドロームへの対策「さよならメタボプログラム」をはじめ
健康効果が期待できる「健美創菜」、ちょっと贅沢な「セレクトスタイルメニュー」
嚙下困難な方でも安心して食べられる「やわらかマザーフード」など

◆シダックスによる「食育」活動の推進

- ボプラ社との連動企画「旬」がまるごと マザーフードマガジンや
子ども食育かるた、野菜(8/31)の日「食育」セミナー実施など



5

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループの取り組み

◆様々な「コスト削減」ニーズ

穀物や原油などの食料・資材の高騰

人手不足などの労働力の減少
(労務費高騰)

地方財政を圧迫する行政構造

急速に変化する社会環境・事業環境の中、
民間企業は周辺業務のコストを削減

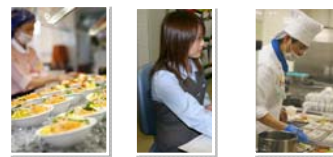
◆食料・労務費コスト上昇への対応策を整備

- ・エスロジックス事業による食料の一括調達
- ・共同購買機構「Funs AP」による給食・外食他社との
アライアンスによるスケールメリットの拡大
- ・セントラルキッチンの研究開発
労働力や食料を集約することで省力化と食料使用を効率化
給食現場の省力化を実現するメニューシステムを強化
レシピと食料が連動する「標準メニュー」の推進や
「クックチル」「クックフリーズ」商品の開発研究
- ・「カット野菜」等の導入を推進することで環境配慮と共に
食料ロスの低減、給食現場の省力化へ

◆様々なアウトソーシングサービス運営の実績 (民間企業や地方自治体のコスト削減をお手伝い)

- シダックス
・学校給食や社員食堂をはじめ病院給食、官公庁、公共施設など
あらゆる場所での集団給食を安心・安全かつ適正なコストで受託運営
大新東
・地方自治体における周辺業務や施設管理などを様々な業務について
改善提案を実施することで行政コストを削減

「シダックス×大新東」による「トータルアウトソーシングサービス」
様々なサービスを効率的に運営しコストを削減



6

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループの取り組み

◆品質向上・売上拡大

競争激化による受託単価の低下

安心・安全なサービスの提供

ライフスタイルの多様化による
新しいサービスの創出

スタグフレーションの懸念による
各種産業の苦戦

拡大する地方自治体の
周辺業務の外部委託



◆新しい商品・サービスの開発

- ・食堂運営から施設管理、周辺業務まで一括して委託できる「トータルアウトソーシング」を自治体・民間企業へご提案
- ・機能性や付加価値を高めた食事メニューシステムを強化

◆付加価値・差別化商品の提供で売上拡大

- ・「健美創業」「花粉症対応メニュー」「さよならメタボプログラム」「やわらかマザーフード」「セブスタイルメニュー」など
- ・他社には無い付加価値・差別化した商品の提供
- ・レストランカラオケでは「スペシャルルーム」から「バリューコース」などの1ランク上～リーズナブルな商品まで幅広いサービスを提供（「本物志向」と「コストパフォーマンス」を両立）
- ・自治体向け周辺業務等のコンサルティングサービス（「行財政改革」と「町おこし」のコンサルタント）

◆専門性を高め、ハイクオリティなサービスを提供

- シダックス
 - ・グループ内1,000名を超える栄養士による「食」の研究開発や社内メニューコンテストの実施、外食レストランのメニューノウハウ大新東
 - ・自動車管理事業においては草分け的存在
 - 自治体周辺業務の一括受託などの総合サービスも提供
 - ⇒礼節教育や業務別技能研修を実施し専門性を向上

7

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループの取り組み

◆社会的要請への適応

自然環境への配慮
省エネルギー・省資源への取り組み

「食品リサイクル法」への対応

地域に密着した企業活動の必要性

地方財政逼迫の早期解決
（地方財政健全化法）

メタボリックシンドロームや特定健康診査の
開始など国民の「健康」への関心の高まり

◆自然環境への配慮

- ・エスロジックス事業による食材の一括配送（配送時CO2排出量削減、梱包材の削減）
- ・省エネルギーにつながる消耗品等の商品取扱い
- ・生ゴミのリサイクルシステム構築実験実施

◆地域社会に根ざした活動

- ・カラオケルームを活用した様々な利用法
- ・地域の講師を招いての「カルチャークラブ」の開催
- ・地域の「コミュニティスペース」としてのご活用
- ・レストランカラオケ店舗の営業車へ防災・応急救護用品を搭載（地域災害発生時に対応可能）

◆「行財政改革」のコンサルタント

- ・地方行政における周辺業務や施設管理などについて行財政改革のコンサルタントとしてお手伝い

◆「健康」への取り組み

- ・農林水産省 平成19年度に「食育推進事業」「食事バランスガイド」の普及・啓発手法の開発実証を終了（シダックスが事業主体に採択され開発）



「社会問題解決型企业」として様々な課題に対応

8

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループ事業編成

コントラクトフードサービス事業
 メディカルフードサービス事業
 コンビニエンス中食事業

企業・法人顧客向けサービスの提供
 (Business to Business)

お客様とWin-Winの関係構築

レストランカラオケ事業
 スペシャルティールーメン事業

一般顧客向けサービスの提供
 (Business to Consumer)

お客様に感動のサービスを提供

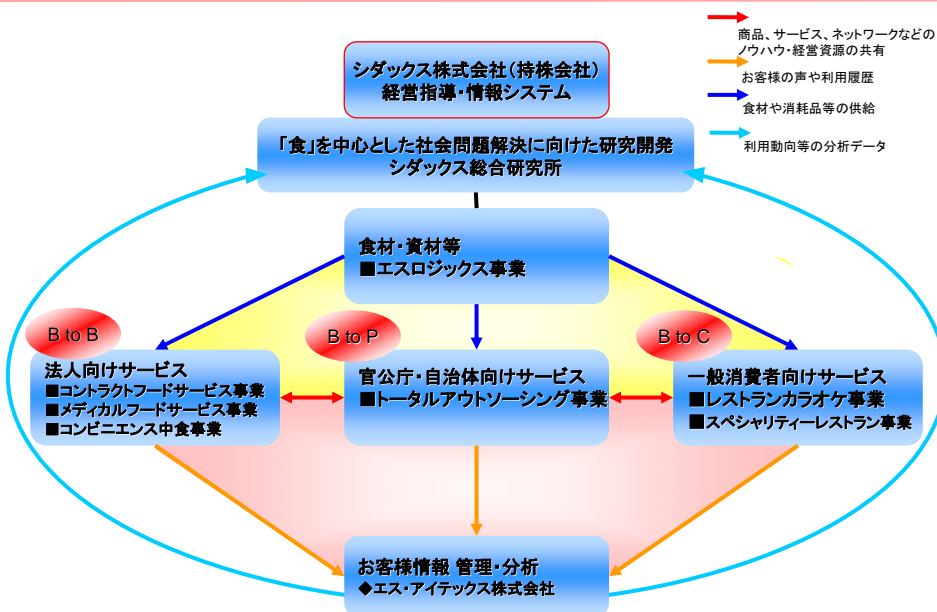
トータルアウトソーシング事業

官公庁・地方自治体向けサービスの提供
 (Business to Public)

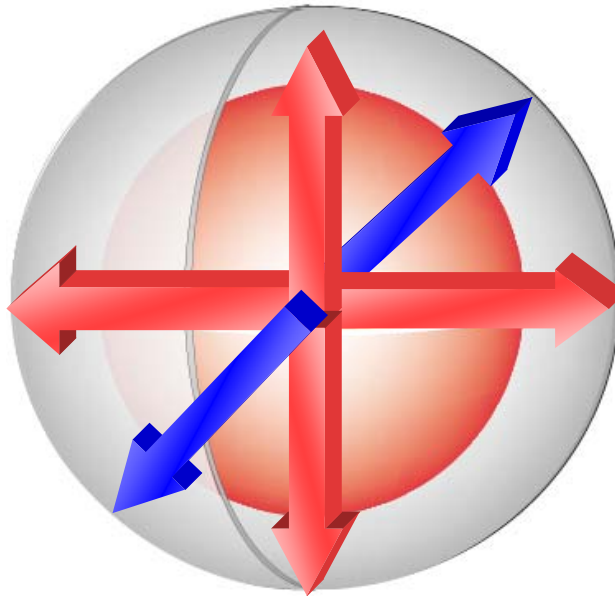
ビジネスを通じて社会貢献も推進

Simple	わかり易く
Ecology	かつ、地球環境にやさしく
Evolution	革新的であり
Dynamic	ダイナミックな展開ができる企業グループ

■シダックスグループ事業編成



■シダックスグループ事業構造



11

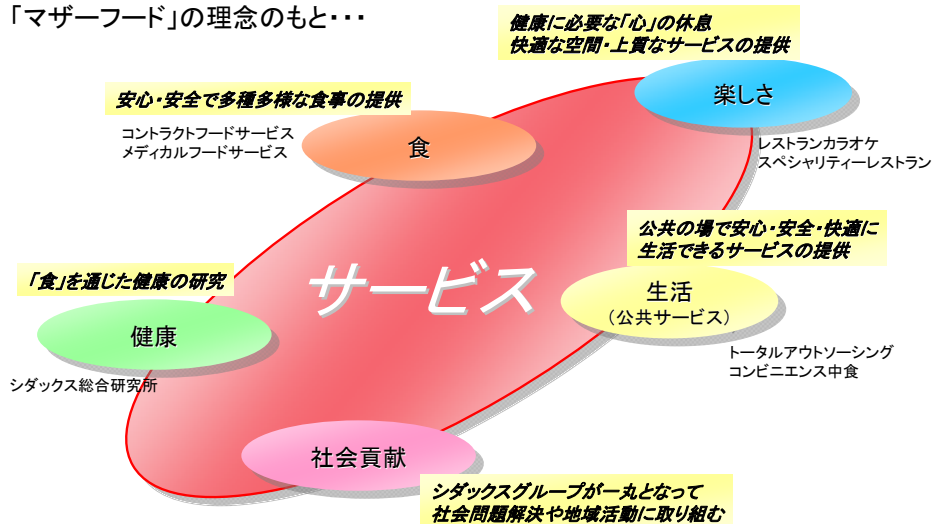
【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■シダックスグループが目指す姿

「マザーフード」の理念のもと・・・



様々なサービスの提供と、様々な業務の受託が可能な
「トータルサービス」「トータルアウトソーシング」のシダックスグループ

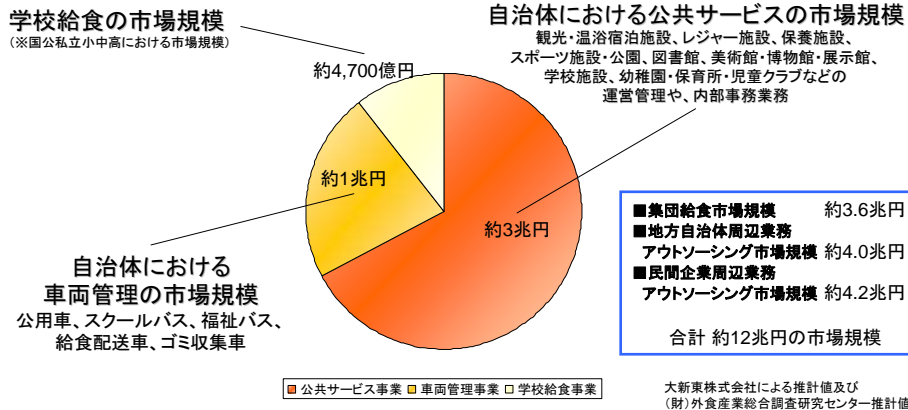
12

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■ 拡大が見込まれる地方自治体市場



公共施設と呼ばれる主な施設（周辺業務のアウトソーシングが見込まれる施設）

小学校、中学校、高等学校、公民館、図書館、美術・博物館、スポーツ施設、多目的ホール、
保育施設、児童館、老人福祉施設、市営住宅、県営住宅施設、行政庁舎、出張所、病院、診療所

官公庁・自治体への共同アプローチを実行

13

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■ 地方財政を取り巻く環境

地方自治体においては様々な改革が進行中

- ・政策金融機関に関する改革
- ・公共セクター向け債権のリスク見直しに関する改革
- ・**連結会計制度導入に関する改革**

地方財政健全化法(地方公共団体の財政健全化に関する法律)

全自治体に対し、公営企業や第三セクターまで含めた4つの財政指標公開を義務付け

- 実質赤字比率 ※普通会計における赤字比率
- 連結実質赤字比率 ※公営企業を含めた赤字比率
- 実質公債費比率 ※債務残高の財政負担を示す比率
- 連結将来負担比率 ※公社や第三セクターを含めた将来的な税負担を示す比率

普通会計以外の公営企業や公社・第三セクを含めた財政状態をチェックし、
自治体の財政破綻に陥る前に財政の健全化を図る

地方自治体においては数値目標が設定され
具体的な削減策を講じなければならない状況

14

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■マーケットアプローチの課題

しかし地方自治体の声として…

事業者の選定・コンサルティング力への不安

- ・アウトソーシングの受け皿となる民間企業がわからない
- ・現状費用の積算や仕様書作成などでの苦慮

事業者の体制への不安

- ・民間企業における危機管理体制など事業者の経営体制に不安
- ・官と民が一体となった協働のまちづくりを行っていく必要が大きい
- ・地元雇用の確保など地域に密着した事業体制が可能か不安

質(サービス)の低下への不安

- ・類似業者や中小事業者の乱立などで実績の無い民間企業へ任せることへの不安
- ・アウトソース後のモニタリングへの不安

平成19年10月野村総合研究所公表

「民間へのアウトソーシングに関する自治体アンケート調査報告」より抜粋

15

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■マーケットアプローチの優位性

シダックス・大新東の実績・コンサルティング力

- ・大新東 ⇒ 「行財政改革のコンサルタント」として自治体への様々な財政改革の提案実績
全国約300自治体における様々な周辺業務の受託運営や学校給食PFI案件実績
- ・シダックス ⇒ 学校給食等での安心・安全な食事提供の実績
両社により、自治体を持つ運営面や実績面での不安を解消

シダックス・大新東の体制

- ・上場企業による内部統制やコンプライアンスを徹底した運営体制
- ・町おこしの企画・立案も手がける大新東と、社会問題解決型企業としてメセナ活動や地域活動に取り組むシダックスにより地域密着型の業務受託運営をさらに強化

シダックス・大新東の質(サービス)

- ・「食」に対し真摯に取り組み日々研究開発を行うシダックス
- ・業務改善提案能力を保有し周辺業務受託実績からなる運営ノウハウを保有する大新東
⇒ **両社の専門性により委託前よりも質(サービス)が向上**

16

【2008年3月期 決算説明会資料】

Copyright (C) 2008 SHIDAX CORPORATION. All rights reserved.

MOTHER FOOD.
SHIDAX

■ 今般公開買付実施に至った理由

現状認識

親子上場ではそれぞれの自主性・独立性等もあり、大胆な経営資源の配分に限界
市場成長スピードに見合った人的・物的リソースの取り込みに遅れ
市場の成長に合わせた抜本的な経営組織の改革が必要

大新東が完全子会社となることにより・・・

- ◆ シダックスとの全国的な営業ネットワーク共有の最大化により営業部門の強化・特化
- ◆ 人材交流のさらなる活性化（適時適切なタイミング、大胆な経営資源の投入）
- ◆ 株主構成の簡素化により、将来を見据えた機動的な経営判断が可能
- ◆ 総務、財務及び経理部門等の管理部門の統合により効率化と経費削減
- ◆ 成果責任体制を確立し、当社の全国の既存顧客基盤に対する対象者の営業活動を加速

それは、私たちの決意です。
母なる地球が育んだ、豊かな大地と海の恵みを、
すべてのお客様に、母親のように真心を込めてお届けする
健康創造産業として「お客様への愛情」「地球への愛情」を真剣に考えています。

MOTHER FOOD®
SHIDAX